

やっぱり 看護が好き

座談会

東京都看護職員地域就業
支援病院のサポート体制

知らせたい!

プログラムだけでないプラスアルファ

Interview これからの看護

ベビーのための
訪問看護ステーション

おすすめ研修

セカンドキャリアセミナー
こころと身体のアンチエイジング

地域に密着した
看護職の就職相談会

平原 真紀さん

訪問看護ステーション「ベビーノ」所長 株式会社TOMATO代表取締役

ベビーのための 訪問看護ステーション

いま小児の在宅医療に注目が集まっています。平原さんは、NICU（新生児集中治療室）を退院した児のための訪問看護の必要性を強く感じ、ベビーノを立ち上げました。Bebanoには、bean（豆）のように小さく産まれても、元気に大きく育ってほしい、という願いが込められています。平原さんがベビーノ開設を決意した6年前は、まだ小児の在宅医療が緒についたばかりの頃。でも、その志に賛同しともに歩むこととなった2人の仲間がいます。3人の力が一つになって生まれた求心力が、志を同じくする仲間や縁を次々引き寄せて、ベビーノもまた元気に成長中です。

「大学病院のNICUに勤務していたころ、退院後の在宅看護についてご家族から相談を受けるケースが数多くありました。大きな不安を抱えたままの退院を見送るたびに、NICU退院後をカバーする訪問看護ステーションが必要と強く思うようになりました。ちょうどそのころ、東京都のNICU退院支援の第1回目の会議が開催され、開設するならいま！と決意しました」

平原さんが、NICU看護師仲間の川口智子さん、小淵朋子さんにあふれる情熱を打ち明けたところ、やろう、やろうとすぐに話がまとまり、3人でベビーノを開設する運びとなりました。平原さんたちは運営母体の株式会社TOMATO設立に向けて動き出します。TOMATOは、真紀さんのMAを、智子さんのTOと朋子さんのTOが両側から支えています。3月末の退職からわずか1カ月で準備を整え、5月5日こどもの日にベビーノをオープンしました。

「なんといつても、仲間と応援してくださる方々がいたからこそ実現できたと思っています」

3人で開設したベビーノも、いまでは19名のスタッフ

（看護師13名、理学療法士3名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、事務職員1名）を擁するステーションに成長しました。利用者は、主にNICU退院後の0歳から6歳までの未就学児で、未熟児や低体重児、先天異常のあるお子さんなどさまざま。都内23区全域をカバーしています。

「人工呼吸器の管理、経管栄養、在宅酸素などの医療的ケアに加え、ご家族の気持ちに寄り添ってサポートすることも重要な仕事です」

ベビーノの看護師は全員、NICU・小児科・産科で5年以上の経験を積んだ専門家。そして平原さんを含めお子さんをもっているスタッフも多いので、在宅看護の中心になるお母さんをはじめとしたご家族にとって、よき理解者であり相談相手です。

「お子さんの回復や成長・発育には、ご家族とともにお家で生活することが何より大切です。それぞれのお子さん、それぞれのご家族の幸せのためにお手伝いしていきたいと思っています」

広域をカバーするため、スタッフ全員が事務所に顔を揃えるのは週1回。でも、スマートフォンで緊密

に連絡を取り合っており、判断に迷う場合などは、SMSを使って全員の知恵を結集して対応しています。また、24時間電話相談を受け付けており、夜中の急な発熱等に対応しています。

今後、子どもの在宅看護も受け入れていきたいというステーションからの相談にも、ベビーノは協力を惜しみません。地域医療との協働に加え、就学年齢に達した「ベビーノ」ご家族たちをスムーズに地域に引き継ぐというビジョンの実現も目指しています。

スタッフが毎年楽しみにしているのは、ベビーノを卒業したお子さんたちの写真入り年賀状。「あんなに小さかった子がこんなに大きくなつて」と、ベビーノのこたちの成長を喜びます。そして、ベビーノで「母さん」と慕われている平原さんは、それと同じくらいスタッフの成長を楽しみにしています。

「ベビーノには、子育てのためにいったん看護から離れて復帰したスタッフもいます。自分より大切なものがあるという子育ての経験は、看護に活かせる大切なもの。ぜひ復帰して看護に活かしてほしいと思います」



●プロフィール

平原 真紀（ひらはら まき）

東北大学医療技術短期大学部看護学科で学び、同校専攻科助産学専攻卒業。1994年東京女子医科大学病院に入職し母子総合医療センターNICUに配属となる。小さな命のパワーに惹かれ新生児看護に夢中になる。同NICU看護主任を経て、ベビーノ設立のため2010年3月に退職。助産師・看護師。

おすすめ研修

セカンド キャリア セミナー

こころと身体のアンチエイジング イキイキと働き続けるために

- 対象者…都内在住で就業を希望する離職中の看護職（ナースバンク登録が必要です・都内の中小規模施設に勤務する看護職）
- 1回定員…60人
- 開催日…平成27年10月16日（金）
13時30分～16時30分
- 会場…東京都ナースプラザ

看護職を引退された方に、ライフスタイルに合わせた働き方で、再び看護職として働いていただきたい！そんな願いが込められた研修です。そのためには、こころと身体のアンチエイジングが大切。

久保明先生（医療法人財団百葉の会銀座医院院長補佐・抗加齢センター長、常葉大学健康科学部教授、医学博士）の講義では、アンチエイジングについての最新情報を教えていただきました。有効と宣伝されているサプリメントや食品についても数多く取り上げましたが、その中には科学的根拠がないものも含まれているとのこと。「看護師の皆さんは医療のプロ。そのことを自覚して、科学的根拠を求め常に学ぶ姿勢を忘れないでいただきたい。そして、それは患者さんへの有用な助言にもつながるはずです」久保先生の激励の言葉です。

10分の休憩を挟み、第2の看護人生を歩んでいる二人の方の体験談を聞きました。杉本弥生さんは40年近く看護師として働き定年退職。現在はNPO法人白十字在宅ボランティアの会「暮らしの保健室」に勤務しています。助産師37年の経歴をもつ桜井範子さんは、東京都ナースプラザ看

護師等確保対策事業係として勤務しています。お二人とも、看護経験を活かして社会のために役立ちたいと復帰を決めました。働くことは自己実現なのだということも、イキイキと語るお二人の姿から伝わってきました。

平成28年度研修について（ご案内）

超高齢社会のいま、医療は病院から地域・在宅へと移行し、看護職の働く環境も大きく変化してきています。東京都ナースプラザの研修では看護職の就業意欲の促進、中小規模施設で働く看護職の資質向上や定着促進のための知識および技術に関する研修を行っています。

平成27年度の研修に参加された受講生の方々からは「とてもわかりやすく良い内容の研修でぜひ現場で活かしたい」、「楽しい講義で最後まで集中して聞くことができた」などの感想が寄せられています。特に「再就職へのステップ3日間研修」

の受講生からは、「思い切つて参加してよかった。再就職に向けてたいへん勉強になった」、「不安だった気持ちが少し解消され、前向きにがんばってみたいと思う」など再就業への意欲的な声も聞かれました。

平成28年度の研修では、新規研修を4科目に加え、より多くの方々が受講しやすいようにコース数や定員数の見直しを行いました。総研修科目数は53科目、総定員は3,941名です。応募数の多い「急変時の看護」を3回から4回開催とし、平成27年度に新設した「高齢者の心身の理解とアセスメント・睡眠ケア・排泄ケア」の定員数も増やしました。

●新規に計画した研修

最新の知見…「パーキンソン病患者の療養支援」

緩和ケアの視点から

在宅・地域看護関連…「小児訪問看護の実際」

今日の課題…「震災を振り返つて～震災時・震災後の高齢者介護施設での取り組み」

「医療機関でのクレーム対応」組織としてクレームにどう対応するか

●第二四半期の研修応募受付は3月7日（月）より開始します。研修の詳細につきましては、研修計画（冊子）・一覧表やホームページ等をご覧ください。多くのご応募をお待ちしています。

久保先生によるスライドを使ったアンチエイジングの講義



杉本さんは体験談を、「置かれた場所で咲きなさい」渡辺和子さん「フットダム清心学園理事長」著を引用して締めくくりました。



ご自身の経験から、「楽しみながら働きつづけよう」と会場に呼びかける桜井さん



会場からの質問に答える久保先生。講義後10件もの質問が寄せられました。中には、「先生が日頃行っているアンチエイジングは？」との質問も。



〈出席者〉

石川 孝子さん

〔医療法人社団時正会佐々総合病院 看護課長〕

佐藤 知子さん

〔医療法人社団直和会平成立石病院 副看護部長〕

渡邊 千恵さん

〔医療法人社団光生会平川病院 看護師長〕

須釜 なつみ所長 〈司会〉

〔東京都ナースプラザ所長〕

東京都看護職員地域就業支援事業の開始から7年、支援病院のバックアップ体制も、さまざまな経験と工夫を経て充実してきました。あなたも近くの支援病院で復職支援研修を受けてみませんか？ 復職への第一歩は、意外に身近なところにあります。

研修の申し込みから研修初日

―緊張緩和を心がけて―

須釜 東京都には復職支援研修をお願いしている支援病院が31ありますが、本日はその中の3病院から、直接研修生の指導にあたっておられる方々においでいただきました。勤務されている病院などの情報は下段をご参照ください。

早速ですが、研修生は申し込みから研修初日、かなり緊張するようです。皆さんは指導者としてどのようなことに配慮していらいっしょにいますか。

渡邊 申し込みはFAXかメールで受けており、折り返し電話で連絡を差し上げています。おっしゃる



石川さん

ように、電話口からも緊張した感じが伝わってくる人が多いです。初回の連絡で少しでも不安を解消して、できるだけ安心して来いただけるようにと考えながらお話ししています。また

やっぱり看護が好き
座談会

東京都看護職員地域就業支援病院 のサポート体制 知らせたい！ プログラムだけ でないプラスアルファ

研修初日は、特に緊張した様子が伝わってきますので、自己紹介などを通じてスタッフや参加された研修生同士知り合うことで、和やかな雰囲気になるよう意識して研修を進行しています。

1日コースを申込まれた方が、実際に参加して5日間、7日間コースへと変更する方もいらっしゃいます。まずは、この研修に参加できたことが復職への第一歩であること伝えていきます。

佐藤 この事業には5～6年前に参加させていただいたのですが、一度参加をお休みし、26年度からまた参加しています。そのような経緯もあつて、研修生を受け入れる前に東京都看護師等就業協力員の方と打ち合わせをしました。その折に「緊張している方が多くて、申し込みときも病院に来るときも、勇気を奮い起こして来られているので、話しやすい雰囲気をつくることや座席の配置にも気を配ったほうが」というアドバイスをいただきました。初日にこちらから自己紹介をする、同じ研修日程の方を隣同士にするなどの配慮をしています。申し込みはメールや電話のことが多く、メールにはメールで返信しています。いろいろな質問が書いてある方にはそれに答え、その方のニーズに合わせてコースの変更を提案させていただくようなこともあります。メールなら、あまり緊張させずにやりとりできると思っています。

石川 研修の申し込みの対応は総務課が行つてい

ますので、私たちは研修の現場での指導が主です。初日に皆さんがお集まりになったときに部長や研修担当者の紹介、院内案内をします。最初に、当院で働いている看護師は子どもを2～3人持つている人が多いこともご紹介します。院内保育園だけでなく病後児保育室もありますので、研修中子どもを預けることができます。応募される方は子どもがいる方が多く、子育てが一段落したので仕事に復帰したいという考えの方がほとんどです。同様に子どもを持つ看護師がどのように働いているのかを知る機会にもなるようです。それで、「自分にもできるかもしれない」と思ってもらえればよいと思っています。1日目は緊張されていますので、できるだけ和やかに接するように努めています。日を追うごとに研修生同士、仲間意識が高まるためか、よく会話している姿が見受けられます。

技術研修

―諦めないで少しずつ習得―

須釜 研修2日目以降に技術研修があります。研修生はキャリアもプランクもさまざまですから、苦労されていることもあると思うのですが。

佐藤 4～5人いらつしやったときに、誰に照準を合わせて教えるかということが難しいですね。ほとんど働いたことがなくて家庭を大事にして

支援病院の紹介

佐々総合病院
(西東京市)

183床

北多摩地区の中核病院として急性期医療を担う総合病院。107年の歴史がある地元根拠した病院で、産婦人科も100年以上の歴史がある。平成21年からは戸田中央医科グループ一丸となり「愛し愛される病院」を基本理念としている。13の診療科を標榜し、救急指定病院として地域の救急医療の一翼を担う。石川さんは、院内教育委員会の看護部教育担当。助産師キャリア約35年で、長く産科で仕事をしてきたが、次世代に譲るかたちで3年前から教育専任となった。





これた方もいますし、つい最近まで働いていた方もいます。研修初日に担当の師長や主任と、個々の方のプランクの長さやキャリアについて情報交換をして、対応を刷り合せています。あとは休憩時間に練習できるようにシミュレーターも置いてあります。空いた時間に練習できる時間と環境をつくり、わからないことがあったら聞いてくださいと声掛けをしています。新人を教えるのはまた違う難しさがあるというスタッフもいました。

渡邊 当院でも、30年のキャリアを持ちながら半年前に離職した方と、1年半しか働いていなくて、その後20年のプランクがある方が同じ日程で来られたことがあります。研修に来られる方が比較的少人数ですので、それぞれのキャリアに合わせて技術研修を実施しています。

石川 ある程度のプランクがあっても、3〜4年間同じところでしっかりと基礎を学んでいけば、技術的なところも戻りやすいと思います。逆に、基礎を学ぶ間もないほど短期間で転々と職場を変え、なおかつプランクも長いような場合はもともと身につけていませんから、なかなか難しいところがあります。就職においても、プランクの長い方が復職支援研修を受けないで入職する場合、技術的なところはご本人も受け入れ側も苦労するところ、習得には努力が必要です。

渡邊 自己紹介のときに、おやつと思うぐらいに職場を転々と変えている方の中にはいらつしやいますね。でもプランクがあっても普通に入職してくる方が多い中で、復職支援研修に参加される

方はもともと学びたいという意識の高い方が多いと思います。ナースプラザで研修を受けてから受講する方もいますので、指導しやすいケースもあります。

須釜 技術的なところは、諦めないで何回も体験して少しずつ習得していただくということでしょうね。

病棟実習

―人生経験が活きる「コミュニケーション」

須釜 研修4日目からの病棟実習について、工夫や配慮されていることなどを教えてください。

石川 教育委員が技術研修をやっていますので、病棟実習は技術研修を担当したスタッフの病棟で引き続き同じスタッフに付いていただきます。支援病院になつて3年ほど経ちましたので、教育委員はこの研修の全体のあり方がよくわかつてきました。今後もし受け入れる体制作りをしていきたいと考えています。

須釜 それは、研修生がすごく安心できますね。
石川 1病棟で受け入れる研修生は2〜3人と、少人数にして一緒に行動します。そこで見学だけでなく、できそうなことは一緒にやっていただきます。「研修生」という名札をつけていますので、空いた時間に患者さんが「それ、何だい？」と話しかけてくださるようなことがあります。患者さんと1対1で話をするのが楽しいようです。また、5日間コース・7日間コースとも同じ病棟に入っていたので、落ちて取り組めるようです。比較的年齢の高い方は技術的には追いつかなくても、患者さんとのコミュニケーション能力はさすがだなと、若い教育委員が感心するような場面も見受けられます。

須釜 コミュニケーションは人生経験が活きるところで、看護の基本ですね。渡邊さんのところはどうですか。

渡邊 病棟実習は、病棟スタッフとマンツーマンの対応ができるよう、研修生は1人ずつ分かれて病棟に入っています。全8病棟の中で、初日の院内見

学で興味を持った病棟があれば、可能な限り対応しています。希望どころか、今日来るだけで精一杯でしたという方は、こちらで考えた病棟に入ってください。スタッフについても、今日は適切な指導担当者がいるかどうかを事前にリサーチして担当をつけています。

復職支援研修を重ねているうちに、病院全体にこの研修の狙いが浸透してきました。しかし他の研修も入りますので、毎回指導スタッフには研修の目的と研修生の情報をきちんと伝えることも私の大事な役割だと思っています。病棟実習では研修生が、指導スタッフと一緒にケアに入ること、不安に思っていた部分が解消されたという声も多く聞かれています。プランクが長くても就業できる、という気持ちを持てるような声掛けをしています。

須釜 佐藤さんのところはどうか。

佐藤 基本的にはご本人の興味がある病棟に入っていたと思いますが、特に希望はないとおっしゃる方は、こちらの判断で入っていたこともありますが、いろいろ見てみたいという方は、午前中は内科に行つて午後は外科、あるいは救急を見ながら外来にもちよつと行つてみるなど、なるべくご希望に沿うようにしています。当院は去年からパートナーシップ・ナーシングを導入実施していますので、病棟では2人でケアしているところに研修生に入っていました。「2人でやっているところがいいですね」という話が出ます。見るだけと思っていいる人もいますが、「やってみたい」という方もいます。そうするといっているスタッフから、「やれそうだったらやっていただいてもいいですか」という声が出ますので、大丈夫と判断したら、一緒に清拭や点滴の確認に入ってもらいます。「やった」「できた」ということはストレートに自信につながると思っています。

以前働いていた方は、そのときの職場の雰囲気や環境が働くイメージのベースになっています。すごく忙しくて、厳しい先輩もいて、時間外も多くて、子どもの具合が悪くなつても途中で帰るに帰

平成立石病院 (葛飾区)

180床

救急搬送台数が年間5,000台を超え、特に脳卒中の受入れでは都内上位にランクされている。平成26年より、自施設の救急車在宅患者を協力病院へ搬送する「かつしか在宅搬送サポートシステム」に参加。27年、東京都災害拠点病院に指定され、地域の救急・急性期医療の一翼を担っている。

佐藤さんは勤務歴14年。業務改善や教育、採用面接など、看護部長を補佐する業務を担当。忙しい中でも、スタッフがやりがいを持って楽しく働ける職場環境づくりに力を入れている。

平川病院 (八王子市)

349床

精神科病院として、精神科医療の充実とともに、身体合併症や老人医療、精神科疾患患者のリハビリテーションにも力を入れている。東京都の指定を受け、認知症疾患医療センターとしての機能も果たす。豊かな自然に囲まれた高尾山麓にある環境のよい病院。

渡邊さんは、身体合併症病棟と内科病棟の看護師長を務め、看護部教育委員会の委員長として看護師教育を行っている。1年半の育児休暇から復帰した経験も教育に活かしている。

れない雰囲気だった」と。研修で実際に病棟に入ってもらったことで、いまの職場を直接感じてもらうと思います。最終日にそういう感想をいただくことがよくあります。

須釜 それぞれ、いろいろと工夫してくださいそうですね。本当にありがとうございます。プログラムだけではないプラスアルファのところをお聞きすることができました。

復職を目指している方へのアドバイス

須釜 支援研修最終日には、どのようなお話をされているかお聞かせいただけますか。それは、これから復職を目指す本誌の読者にとっても役立つアドバイスになると思います。

佐藤 最終日のお話で、「働こうと思います」とおっしゃる方は多いのですが、「いきなりフルタイムで働くのではなく、短時間、あるいは曜日を決めてなど、家庭と両立できるように自分の条件をはっきり出して、それに合う職場を探されたほうがいいですよ」とアドバイスしています。当院に復職支援研修から就職していただいた方がいますが、5時間勤務希望のところを、最初4時間から始めていただきました。働いてみて、できたら延ばしていけばいいと思います。

実際に短時間で働いているスタッフや、復職支援研修から短時間勤務を経て常勤になったスタッフと一緒に話に入ってもらい、働くための工夫などを具体的に話してもらいます。「おうちでは家族にこういうことを頼んで、家庭との両立もできています」という話を聞くと、自分に重ね合わせて想像できるのだと思います。

須釜 研修生も、それが一番聞きたいところだと思います。渡邊さんはいかがでしょう。

渡邊 出産や育児、ご両親の介護などで離職された方がいきなりフルタイムで働くとなると、ご本人はもちろんですが、お子さんなど、ご家族にかかる負担が大きくなります。研修終了後に当院への就

職を希望される方や、働き方について相談したい方は、具体的に看護部長と話していただくことがあります。

ブランクのある方が就職した際は、特に看護技術に関して不安が大きいと思いますが、中途入職者研修や技術チェックリストなどがあり、1人で実施できるという判断が出た時点でやっていただきますので、いきなり「やってください」ということはないですよ、とお伝えしています。また全病棟に業務マニュアルが設置されていますので、安心して働けることをお話しています。病棟実習のときに実際にマニュアルを使用して指導をしている場面を見て安心した、という感想も聞かれます。

須釜 石川さんはいかがですか。

石川 皆さん自身が働こうという意思を持ったことと自分が素晴らしいというお話をします。仕事をされている方はいない方は家事を完璧にこなそうしている方が多いと思いますが、私は家事を手抜きしてもよいと思っています。うちの部長もそうです。「適当にやればいいのよ。子育ても手を抜くくらいが子どもの自立につながる」と言っています。家庭から一歩離れて職場で自分を発揮することは気分転



左から：石川さん、佐藤さん、須釜所長、渡邊さん

換にもなるし、自由になるお金もできる、というお話をします。それと、先ほどおっしゃったように、初めから常勤でなくとも、週1日から入ってみるのも一つですよ、という話はもちろんさせていただいています。

復職される方にアドバイスさせていただくなら、過去の経験に固執しないことだと思います。自分は「から学ぶのだ」という姿勢と協調性が大事です。「私の時代は…」ではなく、いまの自分がどう看護にかかわっているかということをしっかり意識して現場に入っていた方がいいかな、と感じています。先ほどもお話があったように、復職支援研修を受ける方は自分から学ぼうという姿勢を持った方が多いと思います。現場に入ってもその姿勢を忘れずに、みんなとうまくコミュニケーションをとりながらやっていくということではないかと思っています。

看護が好きで、基本的な看護の視点から患者さんを見ることで、患者さんとの関わりも楽しい、これはとても大事で、そこから入っていくのが一番です。技術的なことは後からいくらでも身につくと思います。また、急性期、慢性期ほか、いろいろな看護がありますので、自分に合ったところへの就職を考えることが重要ではないかということは、最後の懇談会のときにもお話しします。

須釜 いまは、短時間でも働けるいろいろな仕組みをつくってサポートしていることをぜひ知っていただきたいですね。お話をうかがって、支援病院が受け入れ態勢を整え、そのうえでさらにいろいろな工夫をしてくださっていることがよくわかりました。ぜひたくさんの方にこの研修を受けていただきたいと思いました。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。



地域に密着した

看護職の 就職相談会

日時:2015年12月5日(土) 13:30~16:00

会場:新宿区立教育センター5階大研修室
(新宿コズミックセンター内)

東京都ナースプラザでは、平成27年度から地域の会場でも「看護職の就職相談会」を開催しています。この相談会は、看護職の方に広く届出制度を知っていただくとともに、お住まいの地域でのお仕事探しを支援することを目的としています。27年度は、板橋区(11月)・新宿区(12月)・調布市(1月)・八王子市(2月)での開催を好評のうちに終えました。新宿区での開催の様子をお知らせするとともに、年度内最終となります3月12日のすみだ産業会館での開催についてご案内します。

師走とは思えないほど暖かな土曜の午後、「看護職の就職相談会」が開催されました。この相談会では、募集側の施設の担当者と直接面談して情報収集や意見交換できます。参加者が会場に顔を見せると、黄色のユニフォームを着たスタッフが明るく声をかけ、受付へと案内していました。

今回の開催は、新宿区医師会・中野区医師会・杉並区医師会と東京都看護協会の共催で、参加の31施設はいずれも地域内にある病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人福祉施設などです。参加者は、参加施設の情報を確認できるガイドブックや会場に設置された施設パンフレットで、興味のある施設を絞り込んでブースを回り、直接担当

者から施設の情報など知りたい情報を得ることができます。また、看護職として豊富な経験を持つ相談員が、就業への不安や悩みの相談に応じていました。就業の時期や職場の選択などの方向性が決まっていなくても、初歩的なことから相談でき、相談後も就職活動の支援が受けられます。また、進学相談にも対応しています。相談会は終始、和やかな雰囲気のなか進行了しました。

気軽に来場し複数の施設の就業情報を一度に得られるこの相談会は、平成28年度は6カ所(時期・会場未定)での開催を予定しています。お近くの就職相談会場にぜひお出かけください!



会場の新宿区立教育センター。東京メトロ副都心線の西早稲田駅から徒歩3分とアクセス良好



受付では黄色のユニフォームを着たスタッフが親切に対応してくれます。



パーティーションされている各施設のブース。担当者との面談は話を聞くだけでなく、質問も自由です。

27年度最終開催です!

2016年 **3/12**(土) 14:00~16:00
「**看護職の就職相談会**」

すみだ産業会館8階 サンライズホールで開催!
[墨田区・丸井共同開発ビル内]

江戸川・墨田・江東区内の病院や診療所、
訪問看護ステーションなどが出展予定
[当日、出展できない医療機関等のパンフレットもご用意しています。]



江戸川区・墨田区・江東区の3医師会共催・3区後援

ご参加をお待ちしております!



就職個別相談コーナー。東京都ナースプラザの相談員が各種相談に応じます。

東日本大震災から5年。明るいニュースも多くなりましたが、未だ仮設住宅で生活されている方もいて健康状態が心配されています。医療や行政だけでなく、地域のコミュニティでの支え合いは欠かせません。高齢者はもちろん、病気を抱える子どもたちへの支援や成人診療科への移行支援も重要で、キーパーソンの役割を期待されているのは看護職です。

国が進めている地域包括ケアシステムでも鍵となっているのが、医療・介護・予防・生活に関わる看護職の活躍です。そのためには、看護の知識や経験に加え、子育てや生活体験も大切で、多くの職種とともにたくさんの方の経験を積み重ねて実践力もアップします。日々自分の成長が実感できるのが看護。看護職としての復帰を考えているあなたに、期待を込めてこの言葉を贈ります。「私は思う。今が一番大事な時だ。もう一歩！」（武者小路実篤）（N・S）

●都内で17番目に多い街路樹● トチノキ類

表紙イラストの「トチノキ」はこんな木です。

日本原産の落葉高木で、湿気と肥沃な土を好むため沢筋などでよくみられます。大きくなる樹で高さ25m 幹の直径1mほどに成長するものもめずらしくありません。桜田通りの並木は明治45年、霞ヶ関に官庁街が整備されたとき植栽されたもので、70本余りが600mにわたって残っています。花期は晩春で、大きな掌状複葉の間から白色～淡紅色の花が穂状に立ち上がって咲きます。

ちなみに、マロニエは別名セイヨウトチノキで、本種とは近縁です。

もう届出はお済みですか？ ナースセンターへの届出制度

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正により、看護職は離職時などに都道府県ナースセンターへ届け出ることが努力義務化され、平成27年10月届出登録がスタートしました。

届出をされた方には、ナースセンターが、状況に応じて研修や交流会などの情報を提供し、復職を希望する場合は無料職業紹介や復職支援研修など、機能を生かした支援を行います。

あなたの看護の資格を眠らせないために、対象の方は「届出」を行ってください。

届出方法

本人届出

看護師等の届出サイト「とどけるん」から届け出る
登録パソコン、スマートフォンなど、ネット環境がある方はこちらから！ → <https://todokerun.nurs-center.net/todokerun>

現住所のナースセンターへ届出票を提出する
ナースセンターに連絡して「届出票」を入手してください

代行届出

勤務先が届出票をとりまとめてくれる場合は、施設が届出を代行する

届出の対象者および届出内容

対象者

- ①病院等(病院、診療所、助産所、介護施設、訪問看護を行う事業所など)を退職する看護職
※定年退職・転職で次の職場が決まっている場合を含みます
- ②「保健師助産師看護師法」に定められた業務以外で働いている看護職
※行政職、研究職、看護教員、小・中・高等学校の養護教諭、ケアマネジャー、治験等で働く看護職など
- ③現在就業していない看護職
※免許取得後に看護職で就職する見込みがない場合(進学、留学、就業しない、看護職以外で就業するなど)を含みます

届出内容

- 氏名、生年月日、住所・電話番号・メールアドレス
- 保有資格の登録番号および登録年月日
- 就業に関する状況 等
※届出内容に変更が生じた場合、その旨を届け出ること努力義務です。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

東京都ナースプラザ ナースバンク東京 TEL 03-3359-3388
ナースバンク立川 TEL 042-529-7077

移転しました! ナースバンク立川

TEL042-529-7077



ナースバンク東京

- JR中央・総武線 飯田橋駅東口から徒歩7分
- 東京メトロ東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅 出口B1から徒歩6分
- 都営大江戸線 飯田橋駅 出口C1から徒歩5分
- 都営大江戸線 牛込神楽坂駅 出口A3から徒歩5分

ナースバンク立川

- 新所在地: 立川市曙町1-21-1
ユニゾ立川ビル6階
- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
 - 多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ 検索

- ホームページ: <https://www.np-tokyo.jp/>
- Eメール: np@np-tokyo.jp



ナースバンク東京 TEL03-3359-3388